



行事予定と内容

1日(金)消火・避難訓練

*爆破予告を想定した訓練を行います。

1日(金)安全のお話

*園庭の固定遊具の使い方・遊び方についてお話があります。

5日(火)健康のお話

*早寝早起き朝ごはん、体を動かす事についてのお話があります。

8日(金)親子遠足(3~5歳児)

*「秋田ふるさと村」に出かけます。詳細については後日配布します。

13日(水)おはなし会(2・3歳児)

*読みかたりグループ「つくしんぼ」のスタッフが来園し、子ども達にお話の世界を届けてくれます。

15日(金)プール納め (今年は猛暑の為例年より遅めにしました)

*プール遊びでの成果を披露して頑張りを認め合います。

20日(水)食育教室

*防災の日になんで非常食を試食します。

26日(火)交通安全教室

*集団での歩き方、バスの乗り方や約束を覚えます。

26日(火)小遠足・おにぎりデー

*4, 5歳児はバスで『ダム見学』に行きます。3歳児以下の子ども達は園周辺の散策を楽しみます。

*豚汁とデザート等がでますので、食べきれぬ量のおにぎりを持たせてください。

27日(火)おはなし会(4・5歳)

*読みかたりグループ「つくしんぼ」のスタッフが来園し、子ども達にお話の世界を届けてくれます。

28日(水)園長先生のお話「今日は何の日？」

*「いじめ防止の日」について保育教材を使いながら子ども達の興味や関心を広げていけるようなお話で楽しんでもらいます。

29日(金)誕生会

*9月生まれの誕生者をお祝します。

毎週木曜ダニエル先生&カイル先生の英語教室があります。

10月20日(金)マラソンごっこ

*詳細は後日お知らせします。

わが村体験学習 8月2日(水) 7日(月)

卒園生の3人が子ども達と楽しく遊んでくれました

数年ぶりに、わが村体験学習で中学1年生の3名が来園し、職場体験をしました。図書館へ行き、自分で選んできた絵本の読み聞かせや、お昼寝準備を手伝ってくれたり、プール・水遊びを一緒に楽しんだり。子ども達も関わる事の少ない中学生に大喜び。抱っこやおんぶをしてもらったり、沢山お話をしたりして楽しいひと時を過ごしました。



おひさま



なるせ保育園
R5. 8. 31(木)

新しいお友達紹介!

一緒に楽しくあそびましょう!

たか はし ひな た
高 橋 陽 太くん(0歳児・もも組)

「夏まつりごっこ」大賑わい! 8月31日(木)

お祭り気分を満喫!



約1ヶ月前から、4・5歳児が中心となってアイデア満載の出店(チョコバナナ・たこ焼き・焼きそば・ナポリタン・ジュース・かき氷・お面・貝殻・貝殻ストラップ等)を準備してくれました。

当日は、朝からおはやしの軽快な BGM に誘われて、子ども達もわいわいお祭り気分を満喫していました。年下の子ども達を楽しませたいと企画し、出店係を全うする年長さんの姿が印象的で、成長を感じる場面となりました。



水遊び気持ちいいね!

夏を健康的に!



水温を26~30℃に管理しているので、子ども達は気持ち良さそうにプール遊びを楽しんでいます。水をシャワーのように頭からかけても平気な子、少しでも顔にかかると嫌がる子と個人差はありますが、裸になると解放感でたまらない様子の子もいます。

今年の暑さはかなり厳しく、熱中症指数計を使用し、暑さ指数が31度以上の際はプールあそびを中止。プールのそばには休憩所のテントを張り水分補給場を設け、熱中症対策をしっかりと行っています。残り少ない、夏の遊びを十分に楽しめたいと思います。

おねがい

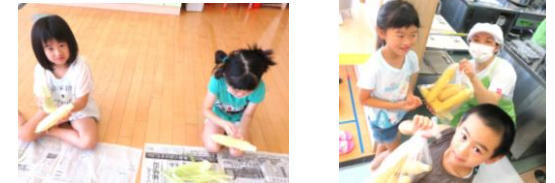
*兄弟で登園するご家庭は安全管理上、年下のお子さんから先に保育室へ送って頂けますようお願いいたします。
・靴下を履いた状態で長い廊下を走ると危険
・感染症予防の為
・年上児保育室前の廊下に誤飲の危険性がある作品が飾ってある為

*送迎時、保育室の扉や鍵が閉まっている際は、保護者の方が開閉して頂いても構いません。

ご協力の程よろしくお願いたします。

お手伝いで食育を! (5歳児)

旬の食材に触れました!



「とうもろこし」の下処理をしているのは、ひまわり組の子ども達です。食育の一環として食材に触れることで、食への関心を高めることを目的としています。とうもろこしのヒゲを取りながら「このヒゲは、とうもろこしの粒、一つ一つにつながっているんだよ!」と教えてくれる野菜博士もいましたよ。午後のおやつでみんなで美味しく頂きました。

子育てワンポイントアドバイス

登園を嫌がる子への対処法 ~担任と連携を~

お子さんが登園をしぶったり、泣いてお家の人から離れられないときは、お子さんからの何かしらのシグナルです。体調が悪かったり、園や家庭での不安などが原因となっている場合があります。

- お子さんの気持ちが切り替えられるように「早くお迎えに来るからね」と約束して、情けをかけずその場をさっと離れましょう。(お家の方の姿が見えなくなると案外平気で遊んでいる場合が多いです。)
- 体調が悪そうなどきは無理をさせず様子を見ましょう。
- 子どもにとって、いろいろな人と関わる集団生活の保育園は、大人の職場と同じようなもので保育時間が長ければ長いほど疲れやストレスがたまりやすくなります。保育園に「行かせる」ことだけに注目せず、普段の気持ちを安定させましょう。温かく見守り着替えを手伝ってあげたり「大好きだよ」と抱きしめてあげたり…。いつもよりも甘やかして、スキンシップも増やしてみよう。
- 悩んだら遠慮せず、担任にご相談ください。

